

フォーカルポイント組立式スクリーン

FOCAL POINT SCREEN

取扱説明書



PHC-Kシリーズ (16:9フォーマット、フロント投影式)

モデル： PHC-K110
PHC-K138
PHC-K165
PHC-K193

PHC-Rシリーズ (16:9フォーマット、リア投影式)

モデル： PHC-R110
PHC-R138
PHC-R165
PHC-R193

PWCシリーズ (16:10フォーマット、フロント投影式)

モデル： PWC-K113
PWC-K142
PWC-K170
PWC-K198

PWCシリーズ (16:10フォーマット、リア投影式)

モデル： PWC-R113
PWC-R142
PWC-R170
PWC-R198

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置は屋内で、風にあおられないように注意してください。

スクリーンの転倒を防ぐため、スタンドに手をかけたり寄りかかったりしないようにしてください。

販売店様へ

- お客様の安全のため、設置場所や組み立て時のケガに注意の案内をしてください。
- 作業は必ず3名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確認に取り付けてください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

警告：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、スクリーンの転倒につながり、非常に危険です。

警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

警告：スクリーンの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にフレーム同士が固定できているかご確認ください。

注意：運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

組立の前に**■ スクリーン生地フレームへの張り込みについて**

冬季はスクリーン生地が低温により硬くなり、張り込みにくくなる場合があります。この場合は暖かい部屋にスクリーン生地を置いておいてなじませると張り込みやすくなります。

スクリーン生地の張り込みに適した推奨温度範囲は15℃から35℃です。

製品保証規定**■ 保証内容**

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な仕様状態で故障した場合には、無償修理させていただきますので、弊社またはお買い上げの販売店にお申し出ください。

なお、輸送による場合は弊社までの送料のご負担をお願いいたします。

■ 無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様はお買い上げの日より一年間において、弊社に対して無償修理を依頼することができます。ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

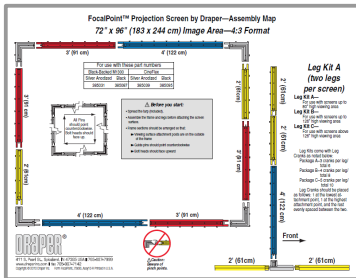
- 1) 故障した商品をお送りいただけない場合。
- 2) 弊社が動作保証するとして指定した機器以外でご使用の場合。
- 3) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- 4) 火災・水害など天変地異により破損・故障した場合。
- 5) 輸送中の振動・落下により故障・破損した場合。
- 6) 弊社製品以外の製品に起因しての故障の場合。
- 7) 弊社以外で修理・調整・改造された場合。

■ 有効範囲

本製品保証規定では本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束いたします。従ってこの製品保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

■組み立てる前に

- ・スクリーンフレームを組み立てる前に、付属のタープ（養生シート）をお使いになり、フロアならびに製品の保護をしてください。
- ・次に、フレームを製品同梱のチャートを見ながら仮に並べて実体配置してください。



製品同梱チャート（サイズによって異なります）

■フレームの組み立て方



【図-1】

スクリーンフレームとスタンドを組み立てます。

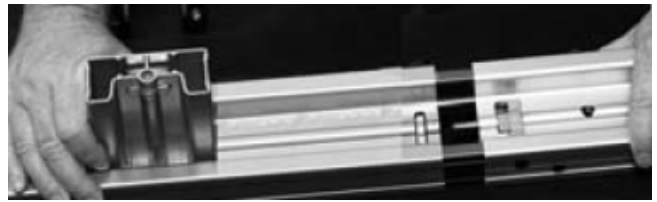
フレームは、同じ形状の方向にして、片側にある長い爪をもう片方のフレームに差し込んでください。



【図-2】

- ・フレーム同士を連結したら、真ん中にあるつまみを回してフレームをしっかりと固定してください。

■スタンド部分の組立て



【図-3】

- ・スタンド用のフレームもスクリーン面のフレームと同様の構造です。
フレーム部分の組み立て方と同様にして組み立ててください。

■フレームとスタンドを組み立てる



【図-4】

- ・フレームをスタンドに組み付けるには、フレームの真ん中にある穴をスタンドの取り付け穴とあわせて、付属のネジで固定してください。
- ・スクリーンを立てたときの下端の高さをきめてスタンドの取り付け位置を設定してください。

■フレームとスタンドの組み立て状態を確認する



【図-5】

- ・スクリーン生地をとりつける前に、もう一度フレーム各部の組み付けと、スタンドの取り付け高さを確認してください。
- ・スクリーンのスタンド部分は、前足だけを取り付けてください。後足の部分は起こしたあとで取り付けます。

■スクリーン生地張り込み

- ・スクリーン生地をスクリーンケースから取り出し、幕面を上にして、フレームの上に覆うように突起物で生地をいためないように注意しながらそっと広げてください。

※赤い「DRAPER」ロゴは、フレームの左下になるようにセットしてください。



【図-6】

- ・スクリーン生地をフレームに取付けるには、スクリーンの端から出ているゴムバンド（デュラループ）をスクリーンフレームの丸いフックに掛けていきます。
- ・張り終わったデュラループのタブは、スクリーン生地とフレームの間にはさみこむように隠しておくこと目立ちにくくなります。



【図-7】

- ・冬季はスクリーン生地が堅くなりますので、暖かい部屋でなじませてから作業してください。。

■スクリーンを起こす

- ・スクリーン生地が張り込みましたら、スクリーンフレームを起こして自立させます。



【図-8】

■後足にスタンド用のフレームを取り付ける

- ・スクリーンフレームを起こした後は、転倒しないようにフレームに手をそえてもらっておき、後足にスタンド用のフレームをセットします。
- ・セットしたあとは、連結部分のノブをしっかりと締めてください。

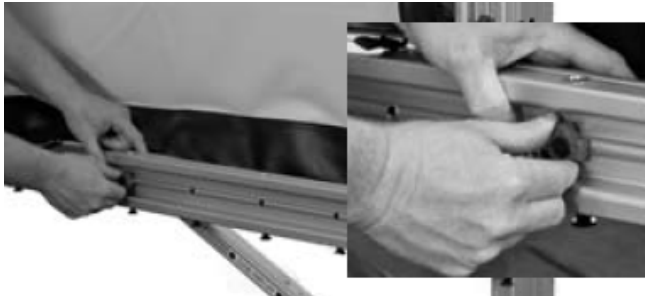


【図-9】

■補強バーの取り付け（一部製品に同梱）

- ・フォーカルポイントスクリーンの一部大型サイズの製品には、補強バーが付属しています。

これを取り付けることで、フレームの左右方向の揺れを低減することができます。



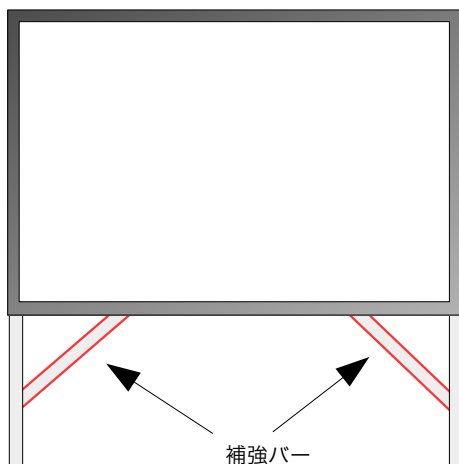
【図-10】

■補強バーの固定位置



【図-11】

- ・補強バーは、スクリーンフレームの左下とスクリーンスタンドを斜めに固定します。



【図-12】

■補強バーの固定位置 スタンド側



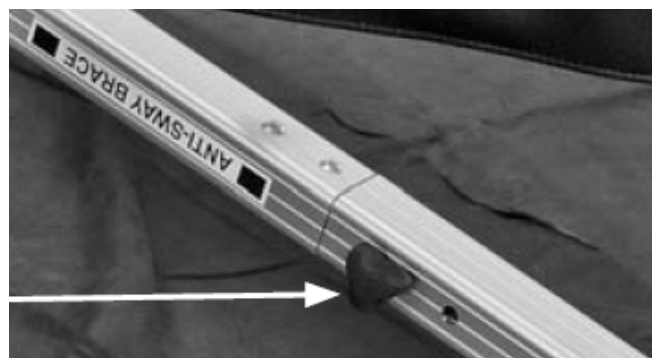
【図-13】

- ・スタンド補強バーの下側は、スタンド背面側にある後足に取り付けます。



【図-14】

- ・スタンド補強バーの上側は、スクリーンフレーム背面側に取り付けます。



【図-15】

- ・補強バーの中ほどには、バーの長さを伸縮できる機構があり、これを用いてスクリーンを鉛直に立たせるように調整することができます。

